



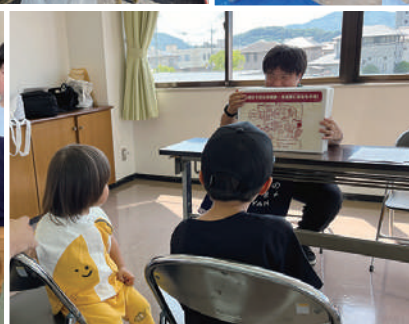
かさおか

社協だより

2024
9月
No.147

ホームページ <http://kasaoka.or.jp/> (Facebook・Instagram 更新中! 登録をお願いします)

**7月6日
ぼっけえ防災開催**
大勢のご参加
ありがとうございました!



Contents (目次)

P2～3 赤い羽根共同募金特集

P4～5 地域包括支援センター・ボランティア

P6～7 お知らせ・募集

予算・寄附・職員紹介

P8

支部活動紹介

編集・発行

社会福祉法人 笠岡市社会福祉協議会

〒714-0098 岡山県笠岡市十一番町15

☎62-3507

FAX62-3590



赤い羽根共同募金ってなあに？

- ①じぶんの住んでいる町を良くするための募金だよ。
- ②障がいのある人や、高齢者など、助けが必要な人たちのために役立てられるよ。
- ③災害のときには「災害ボランティアセンター」の運営にも使われるよ。



笠岡市共同募金委員会
マスコットキャラクター
イチョウくん



赤い羽根共同募金の始まり

赤い羽根共同募金運動は、昭和22年（1947年）に「国民たすけあい運動」として始まりました。以来毎年全国一斉に実施されている全国的なたすけあい運動です。

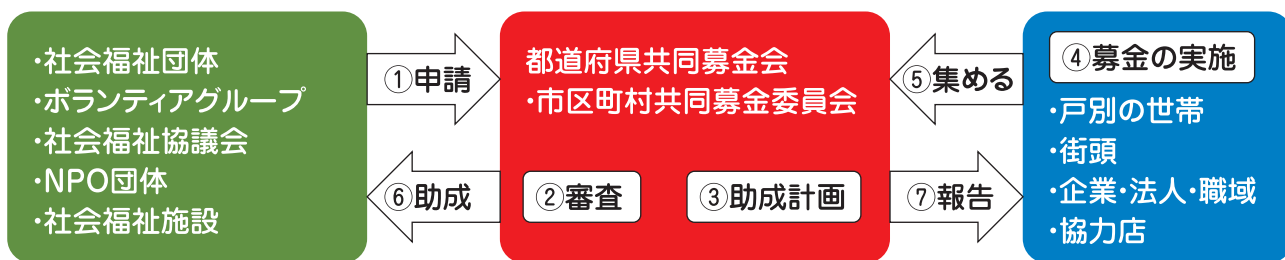


赤い羽根共同募金のしくみと特徴

赤い羽根共同募金は、「共同募金会」という民間の団体によって、都道府県を単位に行われています。

各都道府県内で「赤い羽根共同募金」としてお寄せいただいた募金は、都道府県内でさまざまな地域の課題解決のために役立てられます。

赤い羽根共同募金は、民間性（民間の地域福祉活動を財源面で支えるための、住民の参加による民間の自主的な活動）、地域性（都道府県を単位とし、市町村における運動展開を基礎に、主として区域内の地域福祉活動への助成）、計画性（各都道府県内の「助成計画」を定め、その計画を基に募金活動を行う）などが、その大きな特徴となっています。



さまざまな方法で募金活動を展開しています

- 戸別募金…行政協力委員さんのご協力により市内の各家庭へお願いしています
- 街頭募金…駅前やスーパーの入口などで広く募金の呼びかけを行います
- 法人募金…市内の企業へ募金の依頼を行います
- 職域募金…企業・団体・官公庁等（職域）に職場での募金を依頼します
- 協力店募金…市内企業・商店の窓口に募金箱の設置を依頼します



赤い羽根共同募金に
ご協力よろしくお願
いいたします



笠岡市での使い道



笠岡市の福祉のために役立てられているんだね!

社協支部活動への助成

市内20の社協支部活動への助成をしています。高齢者を対象とした「いきいきサロン」、子育て世代を対象とした「子育てサロン」、1人暮らしの高齢者などの見守りをする「友愛訪問」、子供から高齢者までが集い、交流を深める「世代交流」、介護予防の為に運動教室などさまざまな活動を行っています。



▲いきいきサロン

▼子育てサロン



▲友愛訪問

敬老会への助成

市内の各地区の敬老会や福祉施設での敬老会へ助成をしています。令和5年度は市内8,244人分を敬老会実行委員会や福祉施設へ助成しました。

災害見舞金

火災や風水害等で被害を受けられた方に見舞金を配分しています。

まちづくり福祉活動助成

「見守り」「助け合い」の地域福祉活動に積極的に取り組む団体や、孤立を防ぐための活動を行う団体に対し活動費を助成しています。



令和5年度助成団体

- ・社協支部(11支部) ・NPO法人すみれ会
- ・こども食堂たーくんち ・明日への架け橋Kasaoka
- ・NPO法人かさおか島づくり海社

手作り募金箱の募集

笠岡市内の小学生を対象に「夏休みに募金箱をつくろう」と題し、手作り募金箱の募集を行いました。作品の中から街頭募金で実際に募金箱として使用しました。



強化特別支援事業

共同募金が笠岡市でどんなことに使われているのか独自のチラシを作成しました。また共同募金を若い世代の人に周知してもらう為、共同募金のキャラクターがプリントされたタブレットケースを小学校新入生に進呈しました。



災害準備金として積立

募金の一部を「災害準備金」として積み立て、国内で災害が発生した場合、災害ボランティアセンターの設置や運営等への助成を行っています。平成30年7月豪雨での「笠岡市災害ボランティアセンター」設置、運営でも活用されました。



平成30年7月
笠岡市災害ボランティアセンター



赤い羽根共同募金の税制優遇

共同募金会は、税制上、国や地方公共団体と同じように、寄付に対する『優遇措置の対象団体』になっています。税制上の優遇措置が講じられているのは、共同募金会の行う事業が社会福祉法によって位置づけられた運動であり、共同募金による助成が社会福祉の増進に貢献していると、社会的評価を得ているためです。

- 個人のご寄付…所得税については所得控除または税額控除の対象
住民税については税額控除の対象となります。
- 法人のご寄付…法人税については全額損金算入となります。

共同募金の募金は税金の
優遇がうけられるんだね。



より良く生きるために～ふだんから死を考える～ 2

多くの人は明日が来るのは当たり前だと思っています。

「入院をお願いします」外来から病棟に連絡がありました。「19歳男性、心肺停止※で救急隊員が心肺蘇生※をしています。建物を壊す作業中、大きなコンクリートの塊が背部から当たったようです。間もなく到着します。外来で検査が終わればすぐに上がります。」という内容でした。

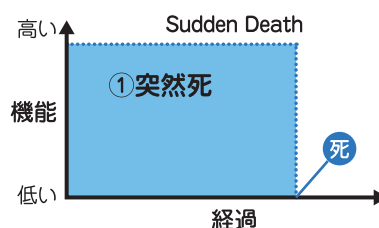
病棟では慌ただしく準備を始めます。自分では呼吸ができないため人工呼吸器、痰を取る機械を取り付けたり、床ずれ予防のエアマットを敷いたりします。

入院時の書類を作成しようとしていた看護師が、電子カルテを開けました。採血も終わり、胸のレントゲンも撮ってありました。その看護師が「あれ？ 何かおかしい」と声を上げました。数人が近くに寄り、胸のレントゲンを見ました。その中の1人が「心臓がない」とつぶやきました。見ていた全員が声を失いました。誰も言いませんでしたが、心破裂で即死だっただろうことはすぐに分かりました。救急隊員が助けようと必死に措置をした光景も浮かびました。

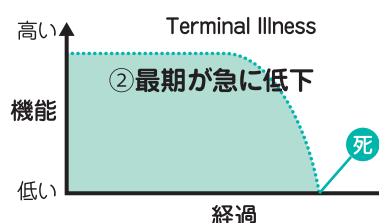
「今頃は家族が呼ばれているだろうか」「朝、元気に出て行ったんだろうな」「どんな人だったのかな」「もう入院にはならないね」口々につぶやきました。そして、「もう止めよう」誰かが言い、それぞれがまた違う業務に戻りました。顔も見ませんでした。その患者のそれまでの人生を思い、関わった人を思いました。レントゲンに写った患者の耳にはたくさんのピアスがありました。今でも鮮明に覚えています。

人それぞれたどる「死」の経過は違います。②の経過は最期の予測が比較的できますが、それ以外は予測がしにくく、特に①はこの患者のように元気だったのに急に亡くなってしまいます。自身も家族も、友だちや仲間にも同じことが言えます。

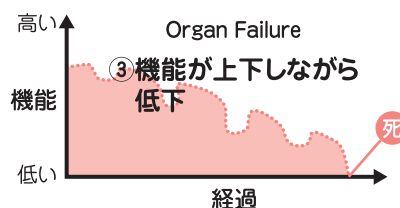
【人の死の経過は大きく4つに分かれます】



事故や災害、急性心疾患、脳卒中などの病気で急に亡くなります。



がんなどの病気で亡くなる1～2か月前までは、体の機能が保たれることが多く、最期が急に悪くなります。



慢性心不全や慢性閉塞性肺疾患などで急に悪くなることを繰り返し、機能が元には戻らず徐々に低下、死に至ります。



老衰や認知症など大きな臓器の病気を患わず、機能が低下した状態が長く続きます。

(Lunney JR, Lynn J, Hogan C: J Am Geriatr Soc. 2002; 50: 1108-1112より)

伝えたいこと、考えたいこと、行動したいこと、一緒に笑ったり泣いたりしたいこと…明日できるとは限りません。

より良く生きるために毎日をどう過ごすか考えてみませんか？

※病気やけがにより、突然に心停止もしくはこれに近い状態になった時に胸骨圧迫(心臓マッサージ)人工呼吸を行うこと。

【介護保険】個別ケア会議を開催しています

平成26年度から、2カ月に1回の頻度で地域包括支援センターが介護保険のケアプランの検討会議をしています。

会議では、看護師・リハビリ職・薬剤師・栄養士・生活支援コーディネーターからケアプランについて意見を伺うことで、利用者に伝えるべきことなどのヒントを得ることができ、プラン作成において大変参考になります。

ケアマネジャー自身も利用者を知る上で心掛けたい

個別ケア会議とは、ケアマネジャーが提出した個別の事例などに対して、多職種が専門知見から意見を出し合い、より良い支援やケアの内容を検討する会議です

新たな「気づき」を得ることでき、関わり方に必要な視点を確認することにもつながっています。今後も会議の内容を生かして、利用者一人一人に添った支援をしていきます。



参加者は市内の居宅介護支援事業所のケアマネジャーなど

地域包括支援センターの職員が ご自宅を訪問しています!

65歳以上の方へお身体や生活状況をお伺いして、支援が必要な方をできるだけ早く発見し、適切な機関・サービスに結び付けていくことを目的に訪問をおこなっています。

令和5年度は、いきいき百歳体操をしばらくお休みされている方、後期高齢者医療保険加入者のうち医療機関未受診かつ健康診断を受けていない方、独居で救急搬送された方、介護保険の利用を中止された方、引きこ

もり状態の方など、合計317件へ訪問を行いました。

生活をする上で、お困りがある方は、介護保険や各種高齢者福祉制度へのつなぎの他、介護予防や社会参加に関する情報提供などを行っています。

大半の方は、現時点で生活上や身体上に問題がありませんが、この訪問をきっかけに、何かあったら地域包括支援センターに相談ができることを知っていただきたいと思います。お宅にお邪魔した際には、お話を聞かせてください。

※地域包括支援センターの職員は、身分証明書を携帯しています。地域包括支援センターをかたる不審な訪問には、ご注意ください。



9月は「認知症月間」です



9月が認知症月間、9月21日が“認知症の日”になっています。笠岡市でも20日にスーパーで、啓発チラシを配布します。「認知症になってもわかること・できることがある」「わがこととして考え、お互いさまの気持ちをもつ」という新しい認知症観をもち、前向きに暮らしていけるように学び、備えていきませんか。

認知症サポーター養成講座好評です



JA晴れの国岡山 笠岡南店



多機能型事業所 かさおか

問合せ:地域包括支援センター ☎62-6662

ボランティアにチャレンジ!

夏休み期間に225名の学生がボランティア体験を行いました。市内の様々な施設に受け入れていただき、それぞれの活動先でボランティア活動に励みました。



高齢者分野



児童分野



医療分野

笠岡手引きの会の紹介

5月の気候が良い時期なので、外出介助研修として福山城に出掛けました。実際に視覚障がい者の手引きをしながら、切符を購入し電車の乗り降りの練習、新しくなった天守内の展示の説明、体験コーナーでは一番槍レース(動く馬の模型)や火縄銃を使う時の補助等、良い経験になりました。城郭まわりはガイドによる説明を聞きながら見学。福山城北側壁面には鉄板が張られており全国の天守で他に類例がないことを知りました。触ってみられる資料館で有意義な勉強会となりました。



Information

暮らしに役立つ情報や、イベント情報、各種募集のお知らせです。

第15回かさおかハートフル福祉大会

福祉分野で活躍する全ての団体が一堂に会し、情報を共有するとともに、地域福祉推進の中で、先駆的または継続的に取り組んでいる個人・福祉団体・NPO・ボランティア団体に対し顕彰を行います。

日 時 10月4日(金) 13時30分～
場 所 笠岡市保健センターギャラクシーホール
問 合 せ ☎62-3507

フードパントリー参加者募集

笠岡市出身の学生を対象にフードパントリーを開催しています!

日 時 令和6年9月7日(土) 9時～
開催場所 いきいき交流センター
会議室(笠岡市十一番町15)
内 容 カップ麺などのインスタント食品やレトルト食品、文房具、生活雑貨など
対 象 者 18歳以上の大学、大学院、短期大学、専門学校、高等専門学校に通う学生で地元笠岡を盛り上げたい方
申込方法 右上のQRコードからお申し込みしてください
一度申し込んだ方には今年度中のフードパントリーやイベントの情報を随時メールでお知らせいたします
問 合 せ ☎62-3507



サンライフ笠岡特別講座受講生募集

●ボールを使った 美姿勢体操

日 時 9月24日(火)
10時
～11時30分
参 加 費 1,000円
(ボール付)
定 員 15人
持 参 物 軽装、飲物
申 込 期 限 9月20日(金)
申 込・問 合 せ ☎63-1533

●収納・片付け講座 ～お片付け、 はじめの一步～

日 時 10月3日(木)
13時30分
～15時
参 加 費 無料
定 員 15人
持 参 物 筆記用具
申 込 期 限 9月30日(月)
申 込・問 合 せ ☎63-1533

チアサポーター (生活支援サポーター)養成講座

「高齢になっても住み慣れた地域で暮らしたい」
そんな想いを支える協力者を養成します。
空いた時間で「誰かの役に立ちたい」「地域を元気にしたい」など関心のある方のご参加をお待ちしています。

日 時 ●ちよいてご編
11月21日(木) 9時～12時30分
家でちょっとした困りごとをお手伝いするサポーターを養成します
●つきそい編
11月28日(木) 9時～16時
自家用車で付き添うサポーターを養成します
場 所 サンライフ笠岡など
申 込 期 限 11月15日(金)(ちよいてご編)
11月22日(金)(つきそい編)
申 込・問 合 せ ☎62-3507

無料法律相談

弁護士による無料法律相談

先着順での受付です。予約はお早めに。
同じ方からの相談は、1年に1回となります。

毎月第3金曜日14時～
4名まで
相談時間:一人30分以内
要予約 ☎62-3507



ふれあいほのぼの相談

民生委員、ソーシャルワーカーなどによる介護相談、生活相談などの一般相談をおこなっています。
「話す」という少しの勇気で変わることもあります。お気軽にどうぞ。

・民生委員による相談受付
毎週木曜日10時～12時
・社協職員による一般相談
平日8時30分～17時15分



家庭生活の中の
ちょっとしたことで困っている方、
相談してみませんか?

笠岡市社会福祉協議会 令和5年度決算報告及び令和6年度予算

【収入】

科 目	R5年度決算額	R6年度予算額
会費収入	7,461,500	7,700,000
寄附金収入	819,095	1,000,000
経常経費補助金収入	20,809,060	22,188,000
受託金収入	191,231,812	208,181,000
貸付事業収入	5,000	100,000
事業収入	9,856,226	11,364,000
負担金収入	661,881	662,000
介護保険事業収入	80,824,400	84,727,000
障害福祉サービス等事業収入	2,917,260	1,800,000
受取利息配当金収入	4,332	9,000
その他の収入	1,230,710	514,000
基金積立資産取崩収入	38,769	1,200,000
積立資産取崩収入	0	20,000,000
拠点区分間繰入金収入	14,538,190	12,397,000
サービス区分間繰入金収入	24,297,903	29,645,000
前期末支払資金残高	68,667,905	63,156,000
収入合計	423,364,043	464,643,000

【支出】（事業別）

（単位:円）

科 目	R5年度決算額	R6年度予算額
法人運営	11,270,662	15,972,000
地域福祉	27,501,928	30,198,000
権利擁護	16,432,014	14,916,000
貸付事業	7,340,095	8,634,000
地域包括支援センター	160,255,866	173,643,000
居宅介護支援	15,676,192	17,357,000
訪問介護	19,951,132	22,634,000
その他福祉	38,747,672	45,700,000
共同募金	9,381,264	9,711,000
老人福祉センター	12,760,693	12,232,000
保健センター	19,923,086	20,488,000
サンライフ笠岡	15,384,851	15,601,000
当期末支払資金残高	68,738,588	77,557,000
支出合計	423,364,043	464,643,000

※詳細はホームページをご覧ください。

社会福祉協議会へのご寄附ありがとうございました

令和6年5月1日～令和6年7月31日 ※掲載について御了承いただいた方のみ、お名前を掲載させていただいております。

一般寄附

藤谷祥子（走出）
備陽美術協会
中国興業（株）
（株）わたる

（株）わたる様より
人形供養でいた
いたお金をご寄附
いただきました



備陽美術協会様より
チャリティー展で
の絵画の売上をご
寄附いただきました

生きがいデイサービス

8月にグループ合同で納涼祭を行いました。射的やヨーヨー釣りなどの屋台レクリエーションをし、昼食は屋台メニューを食べていただきました。

初めてのグループ間交流でしたが、和やかに過ごしていただきました。



職員紹介



地域包括支援
センター所長
齋藤 肇

6月より笠岡市からの派遣で地域包括支援センター所長に着任しました。私自身、平成18年4月の地域包括支援センター立ち上げ時のメンバーの一人でありますので、18年ぶりの職場となります。この間地域を取り巻く環境は大きく変化し、頭の中を最新の情報にアップデートすることに苦戦しておりますが、笠岡市の地域福祉の推進に微力でも役立てよう努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

社協支部活動紹介

今回は真鍋島支部と城見支部へお邪魔して、活動の様子取材してきました

真鍋島支部

いまに歴史が生きる島 真鍋島 78年の歴史に幕引き

真鍋中学校は、昭和24年に建設された木造校舎で、現在中学3年生が2名在籍しています。この懐かしい佇まいに多くの人々が訪れ、映画「瀬戸内少年野球団」のロケ地や、ゲーム「SIREN2」の学校ステージのモデルとしても使われました。高台にある真鍋中学校からは、素敵な漁村の風景が望めます。そのような歴史のある中学校も、3年生の卒業とともに一旦その歴史に終止符が打たれます。



【中学校先生の紹介】(左から)
二階堂 先生(養護助教諭)
虫明 先生(教頭)
横野 先生(校長)
三好 先生(教諭)
山下 先生(事務)

(先生のコメント)
豊かな自然環境ですが、海が荒れると授業は打切りになり、自然の厳しさを感じます。子どもが少ないので、同年代と接することがあまりないのは残念ですが、その反面、子どもたちは島民の方に大切にされているのが分かりありがたく思っています。



真鍋中学校3年生の2人



中学生最後の『まなべ夏祭り』が真鍋島の五里五里で8月2日に開催されました。屋台やピンゴ大会など、普段この学校を見守ってきた方とともに楽しく過ごしました。陸地にはない島民同士のつながり、助け合いが島の魅力です。中学生は社協真鍋島支部で購入したかき氷機で冷たい氷を振る舞いました。(主催は真鍋島青少年健全育成連絡協議会)

城見支部

食事が紡ぐ地域のつながり 城見支部

毎月第3日曜日に、大宜集会所で開催される大宜ゆうゆうカフェには、多くの人々が「食と仲間」を求めてやってきます。地域の人々の居場所を作りたいという思いから始まったゆうゆうサロン。スタッフの方々は毎月大忙しですが、来てくださる方々のためにフロアを駆け回っているそうです。

そんな大宜地区の活動に心を打たれ、「私たちも!」と立ち上がったのが城見台地区の皆さんです。「みんなで食べるご飯は美味しいね」と、地域の一人暮らしの高齢者を対象に始めたいいきき食堂は、今回で開催2回目となります。集まった皆さんはおしゃべりに花を咲かせ、まだかなー?と食事を待っていました。

この日のメニューは、季節の野菜たっぷりのぶっかけそうめん、具沢山のおいなりさん、手作りのオレンジゼリーです。

皆さんはぺろりと平らげて、おしゃべりの続きを楽しんでいました。「ここに来たらみんなおるけん楽しいんよ」と参加者みなさんがにこにこ笑顔でした。



大宜ゆうゆうカフェ
活動日:
毎月第3火曜日



城見台いきき食堂
活動日:第5週目のある火曜日

この広報紙は、共同募金の配分金の一部で作られています。
ホームページアドレス <http://kasaoka.or.jp/>
最新情報や福祉用具リサイクル情報の詳細はホームページをご覧ください。

Facebook・Instagramも
更新中です。
登録をお願いします。



Facebook



Instagram